

表1. 蚊成虫防除用殺虫剤

区分	有効成分	含有率 (%)	剤型	用法・用量	商品名[メーカー名略号*]
	<有機リン系を含む>				
医薬品	ダイアジノン	5	乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	ダイアジノン乳剤[フ]
医薬品	ダイアジノン	5	水性乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	ダイアジノンクリン「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン	10	乳剤	直接噴霧:通常、20倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり100～250倍液20mLを噴霧する。	金鳥スミチオン乳剤[大]、プレミアムスミチオン乳剤[フ]
医薬品	フェニロチオン	10	低臭性乳剤	直接噴霧:通常、20倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	金鳥スミチオン乳剤LS[大]、スミチオン乳剤A[フ]
医薬品	フェニロチオン	10	フロアブル剤	直接噴霧:通常、20倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり100～200倍液20mLを噴霧する。	スミチオン10FL「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン	10	水溶剤	直接噴霧:10倍液を25～50mL/㎡噴霧	スーパーS(2号)「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン, フタルスリン	5, 0.5	乳剤	害虫の生息又は発生しやすい場所に10倍液を25～50mL/㎡噴霧	金鳥SNP乳剤A[大]、スミチオンNP乳剤[フ]
医薬品	フェンチオン	5	乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	フマテックス乳剤[フ]
医薬品	フェンチオン	5	水性乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	ノンソル乳剤B「SES」[住]、フマテックス水性乳剤[フ]、
医薬品	フェンチオン, ジクロルボス	5, 2	乳剤	直接噴霧:10倍液を50mL/㎡噴霧	パイヒットDV乳剤[サ]
医薬品	フェンチオン, フタルスリン	5, 0.5	乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり200～400倍液50mLを噴霧する。	三丸バイテックスNP乳剤[サ]
医薬品	トリクロロホン, ジクロルボス	5, 2	乳剤	直接噴霧:10倍液を適宜噴霧 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり200～400倍液50mLを噴霧する。	ディプサイドD乳剤[サ]
医薬品	プロベタンホス	3	乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	サフロチン乳剤[フ]
医薬品	プロベタンホス	3	水性乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり10～50倍液20mLを噴霧する。	水性サフロチン乳剤「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン, d・d-T-シフェノトリン	5, 0.5	フロアブル	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	スミチオンゴキラートFL[住]
医薬品	フェニロチオン, フタルスリン	5, 0.5	フロアブル	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	スミチオンNP-FL「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン, フタルスリン	5, 0.5	水溶剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。	スーパーNP「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン	1	油剤	直接噴霧:通常、成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり1～2mLを煙霧機で噴霧する。	プレミアムスミチオン油剤[フ]
医薬品	フェニロチオン, フタルスリン, ピペロニルブトキザイド	0.5, 0.05, 0.25	油剤	1㎡あたり25～50mLを噴霧 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡につき1～2mLを煙霧機で噴霧する。	スミチオンNP油剤[フ]
医薬品	フェンチオン, ジクロルボス	0.5, 0.3	油剤	直接噴霧:成虫に向けて適宜噴霧	強カパイヒットDV油剤[サ]
医薬品	フェンチオン, フタルスリン	0.5, 0.05	油剤	直接噴霧:成虫に向けて適宜噴霧	三丸バイテックスNP油剤[サ]
	<ピレスロイド系>				

区分	有効成分	含有率 (%)	剤型	用法・用量	商品名[メーカー名略号*]
医薬品	フェノトリン	10	ULV	原液:1m3あたり0.4mLを空間散布 2倍液:1m3あたり0.8mLを空間散布 4倍液:1m3あたり1.6mLを空間散布 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり原液を0.4mL濃厚少量噴霧機で噴霧する。	金鳥ULV乳剤S[大]
医薬品	ペルメトリン	5	ULV	原液:1m3あたり0.4mL～0.6mLを空間散布 2倍液:1m3あたり0.8mL～1.2mLを空間散布 4倍液:1m3あたり1.6mL～2.4mLを空間散布 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり原液を0.4mL濃厚少量噴霧機で噴霧する。	金鳥ULV乳剤E[大]
医薬品	天然ピレトリン	1	炭酸ガス製剤	1g/1m ³	ミラクンPY[日]
医薬品	フェノトリン	1	炭酸ガス製剤	1g/1m ³ 、1g/1m ² (屋外)	ミラクンS[日]
医薬品	シフルトリン	1	水性乳剤	直接噴霧:通常、25～50倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり50～100倍液20mLを噴霧する。	レスポンサー水性乳剤[バ]
防除用医薬部外品	エトフェンブロックス	5	乳剤	直接噴霧:通常100～200倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり100～200倍液50mLを噴霧する。	レナトップ乳剤[三]
防除用医薬部外品	エトフェンブロックス	7	水性乳剤	直接噴霧:50～100倍液を害虫に向け適宜噴霧する。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり50～100倍液50mLを噴霧する。	ベルミートル水性乳剤アクア[三]、レナトップ水性乳剤2[三]、ETF水性乳剤2[三]、サニタリーEP水性乳剤[フ]
防除用医薬部外品	ピレトリン	0.18	乳剤	30倍に希釈し、害虫の発生または生息する場所に十分に噴霧または散布	「金鳥」除虫菊乳剤[大]
防除用医薬部外品	ピレトリン	4	フロアブル	害虫の発生または生息する場所に20倍液を25mL/㎡噴霧 害虫の発生または生息する場所に40倍液を50mL/㎡噴霧	ピレトリン40FL「SES」[住]
防除用医薬部外品	ピレトリン、 フタルスリン	0.08, 0.068	油剤	直接噴霧:成虫に向けて適宜噴霧	キンチョール液[大]
防除用医薬部外品	フェノトリン	10	水性乳剤	直接噴霧:50～100倍液を50mL/㎡噴霧する。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡につき50～100倍液20mLを噴霧する。	スミスリン乳剤「SES」[住]、金鳥スミスリン乳剤[大]、スミスリン乳剤[フ]
防除用医薬部外品	ペルメトリン	5	乳剤	直接噴霧:20～40倍液を適宜噴霧	金鳥エクスマン乳剤LA[大]
防除用医薬部外品	ペルメトリン	5	水性乳剤	直接噴霧:50～100倍液を50mL/㎡噴霧する。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡につき50～100倍液20mLを噴霧する。	エクスマン乳剤「SES」[住]、金鳥エクスマン乳剤[大]、エクスマン乳剤P[フ]
防除用医薬部外品	フタルスリン、 d-T80-レスメトリン、 ピペロニルブトキシサイド	0.2, 0.05, 0.75	油剤	直接噴霧:成虫に向けて適宜噴霧 煙霧:1～2mL/1m ³	ピレハイス油剤[フ]
防除用医薬部外品	d・d-T-シフェノトリン	5	水性乳剤	直接噴霧:100～200倍液を適宜噴霧	水性ゴキラート乳剤「SES」[住]
防除用医薬部外品	d・d-T-シフェノトリン	5	フロアブル	直接噴霧:100～200倍液を適宜噴霧	ゴキラート5FL「SES」[住]

*印は、サ=サンケミファ、住=住化エンバイロメンタルサイエンス、大=大日本除虫菊、フ=フマキラー・トータルシステム、三=三井化学アグロ、バ=バイエルクロップサイエンス、日=日本液炭